

「表現の仕方を見直そう」

～よりよい表現の仕方について助言する～

ルール説明の文章について、表現の仕方をよりよくするために助言することに課題が見られました。そこで、本アイデア例では、この課題を解決するために、本問を活用し、書き手の表現の仕方をよりよくするために助言することについての指導事例を紹介します。なお、本アイデア例は、第5学年以上を対象としています。

課題の見られた問題の概要と結果

A③ 表現の仕方について助言する

A③ 正答率 **67.6%** ルール説明の表現について助言した内容として適切なものを選択する

学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 B 力

授業アイデア例

A③における誤答の傾向

助言の内容として適切だと考えられるものは？（二つ選択）

選択肢

- 1 ゲームの手順が分かりやすいように、内容のまとまりごとに番号をつけた方がよい。
- 2 多くの人に伝えるので、文末を呼びかけるような表現にした方がよい。
- 3 だれにでも分かるように、難しい言葉をやさしい言葉にした方がよい。
- 4 ゲームの手順が正しく伝わるように、接続の言葉を使った方がよい。
- 5 一文が長くて内容が伝わりにくいので、いくつかの文に分けた方がよい。

誤答の傾向

助言の内容として、1を解答しているが、5は解答していないものが14.8%であった。このことから、事柄の順序に沿って内容を分かりやすく伝えるために、内容のまとまりごとに番号を付けるという助言の内容を捉えることはできているが、一文が長くて内容が伝わりにくい場合、文を分けて一文を短くするという助言の内容を捉えることができていないと考えられる。

目的や意図に応じ、よりよい表現の仕方について助言することができるように指導することが大切です。

ポイント

本問を活用した指導事例：「学年集会で行うゲームのルールを説明しよう」（②／3、全3時間）

学習活動1 本時のめあてを確認する 「下書きを書き上げて助言し合い、よりよい文章にしよう」

■ 本時では、前時に作成したメモを基に下書きを仕上げ、よりよい文章にするために助言し合うことを確認する。

学習活動2 グループで決めた学年集会で行うゲームのルールを説明する文章の下書きを書く

学習活動3 本問を活用し、ルール説明の文章に対する助言の仕方について話し合う

どのように書けばルールが分かりやすくなるのかな。

一文が長くてルールが分かりにくいね。

内容のまとまりごとに分けると、一つ一つのゲームの手順が分かりやすくなるね。

番号を付けると、「②、③をくり返す」と書くことができるよ。

助言する際のポイント
内容のまとまりごとに順序を考慮して書く。（番号、必要な言葉、かじょう書きなど）一文は短く。

5文

- ① 二人でじゃんけんをします。
- ② 負けた人は勝った人の後ろにならび列を作ります。
- ③ 勝った人は他の列の先頭の人を見つけてじゃんけんをします。
- ④ ②、③を全員が1列になるまでくり返します。
- ⑤ 最後まで先頭にいた人がチャンピオンです。

どのように書けば分かりやすいか
いくつの内容が含まれているか

1文

二人でじゃんけんをして、負けた人は勝った人の後ろにならび列を作り、勝った人は他の列の先頭の人を見つけてじゃんけんをし、それを全員が1列になるまでくり返して、最後まで先頭にいた人がチャンピオンです。

めあて
下書きを書き上げて助言し合い、よりよい文章にしよう。

ルール説明の文章

学年集会で行うゲームのルールを説明しよう

学習活動4 グループで下書きを読み合い、各自、どのように助言するとよいかを考える

学習活動5 よりよい文章にするための助言の仕方について、友達の考えを聞き、本時の学習を振り返る

本授業アイデア例 ● 活用のポイント!

- 表現をよりよくするために助言する場合、児童が、調査報告文や新聞など文章の種類と特徴を捉えた上で、書く目的や意図に応じ、文章構成や表現の仕方について具体的に助言することができるように指導することが大切です。